

興和 株式会社

所在地:愛知県名古屋市中区錦3-6-29

事業内容:医薬事業、生活関連事業、産業・化学関連事業、
電機光学事業、システム事業

T E L:052-963-3033



新カテゴリーの電気自動車、LED 照明を開発

「進取の決断」で時代を拓いてきた興和株式会社。環境・省エネの時代を先取りすべく、電気自動車(軽自動車より小型の、新カテゴリー車)と、面発光方式 LED 照明「LUXELA ルクセラ」「LUPINUS ルピナス」を手掛ける。

業況等の動向について

本業の動向について

当社は、100 年余りの歴史を有し、戦前は、繊維製品を中心とした商社事業、紡績業を営んできた。戦後には、繊維事業の他、医薬品、光学機器、光学レンズ、産業・化学関連製品と、事業を多角化してきた。現在は、世界五大陸で販売が広がる高脂血症治療剤を主体に医薬品事業のグローバル化が進む。その一方で、省エネ、環境時代を先取りする、電気自動車や LED 照明製品などの新分野に積極的に取り組んでいる。

電気自動車の参入状況と概要について

現代は都市機能の再構築が叫ばれている。モータリゼーションがアメリカで始まって 100 年。そのあり方が見直される中、大きく、機能的にと謳われた時代はまさしく変わろうとしている。環境と省エネ、そして安全と安心に重点をおいたシステムを人々は求め始めている。

そのような背景の中、興和が現在さまざまな環境事業を進めているひとつに電気自動車の分野がある。メカ設計、電機制御の技術を活かし、実用ロボットメーカーである㈱テムザックと合併で興和テムザック㈱を立ち上げ、電気自動車分野に参入した。

それは、現代の自動車の利用状況の分析から始まる。

一日あたりの走行距離が 20km 未満の車は全体の 40% 自家用車の平均乗員数は 1.3 人。このような現状分析を踏まえ、軽自動車より小型で、定員 2 名の街乗り用の車の開発が進められている。国交省も、一人乗りの「シニアカー・ミニカー」と「軽・普通自動車」クラスの間位置する新しい車のカテゴリー化を 2012 年中に制度化する予定だ。

『未来を変えるクルマ』を基本コンセプトに、コンパクトに形を変えるトランスフォームボディ スマートフォンと連携した遠隔操作ができる、コンパクトカーだ。駐車場の省スペース化、小回り化、狭小な道路走行が可能といったメリットがある。しかも高齢者に優しく、環境にやさしいエコタウン構想にもつながる。観光地での利用の需要も考えられる。

2011 年の東京モーターショーには、これに基づいたコンセプトカーを出展した。

電気自動車の、今後の展望・見通し

都市機能との連動には、電気自動車の利用環境の充実が目目となる。ナビシステム、アプリケーション開発による、位置情報、周辺情報の提供、カーシェアリングシステムとの連動が不可欠である。

当社では、企画から製造、使用環境を促進する舞台提供まで行いたい。もちろん、全てを自社開発できるわけではないので、適宜、外部の力をうまく取り込んでいきたい。

今回、事業開発にあたり、新たな技術課題、ビジネスの種を見出すことができた。自動車モーター 風力発電分野への可能性、バッテリー技術の獲得と蓄電性能の向上、EMI/EMS(電磁波)対策などである。

LED の参入状況と概要について

LED 照明についても、当社のテクノロジーを活かした製品作りとなる。従来の LED 照明が点光源なのに対し、当社は面発光方式を採用する。ここに今まで培ってきた光学技術が組み込まれている。光を発散させる「導光板」に LED の光を側面から当てることで、面発光を可能にする。この面発光が光にさまざまな機能を付加させている。

当社の面発光 LED 製品には、天井に取り付けるタイプの「LUXELA ルクセラ」と、卓上スタンド「LUPINUS ルピナス」がある。

特長は、次のとおりで、光に広がりがあり、やわらかい。チラつき、まぶしさがない。目に優しい。影ができにくい。(従来の LED 複数点光源の場合、影が多重になっていた。それを解消した。) 省エネ、長寿命である。

手元の作業性が向上することから、医療・介護施設での採用が進んでいる。また、卓上スタンドタイプの「LUPINUS ルピナス」では、上下両面発光するミラー付き小型タイプを発売した。

会社概要

設立:1939 年 11 月 15 日(昭和 14 年)

資本金:38 億 4,000 万円

従業員数:1,810 名(2011 年 3 月現在)

URL: <http://www.kowa.co.jp>